報道関係各位

ニュースリリース
2013 年 12 月 18 日
株式会社インテージ

アジアインサイトレポート　第 6 弾 『中国市場実態調査～テレビ編～』
中国テレビ市場で、揺らぐ日系ブランドのポジショニング
次期購入意向メーカーでは、韓国系、中華系メーカーが躍進

株式会社インテージ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：石塚　純晃）は、アジアの人々の意識や行動を探るため、インテージグループ各社と協力し、アジア地域の人々を対象にさまざまなテーマで実施した自主企画調査「アジアインサイトレポート」を発行しています。
第 6 弾のレポートでは、『中国市場実態調査～テレビ編～』を発表します。本調査は、2012 年 7 月と 2013 年 7 月に中国の 20～50 代一般男女 300 人を対象にテレビに関する調査を実施し、結果をまとめました。

分析者：　株式会社インテージホールディングス 上海事務所 川崎　訓
株式会社インテージ DCG・サービス事業本部　浅井　麻紀

調査結果のまとめ

中国におけるテレビ市場の実態を調査した結果、「現在保有しているメーカー」においては Hisense（海信）、Skyworth（創維）のローカル・香港の中華系メーカーが上位 2 位を占め、次いで韓国系メーカーの Samsung（サムスン）が続く。一方で、「次期の購入意向メーカー」としては、Sony（ソニー）が 1 位、次いで Samsung、Sharp（シャープ）と日系メーカー勢が目立つ結果となっている。
しかしながら、経年で見ると、現在保有および次期購入意向ともに、日系メーカーが停滞もしくは縮小しているのに比べ、韓国系の Samsung および Hisense、Skyworth といた中華系が順調に伸長している点が目立つ。その背景としては、日系メーカーが得意としてきた高性能・高価格市場に、Samsung そして Hisense や Skyworth といった中華系メーカーが勢いを伸ばしてきていることが考えられる。
現在、中国では、インターネット動画が視聴できたり、タブレット PC やその他の端末との連動が簡単にできる多機能な製品（スマート TV）の市場が急成長している。Samsung、Hisense、Skyworth はスマート TV に注力し、さらに価格を日系メーカーより安く設定しているため、多くの消費者に受け入れられているようだ。
これまで高性能、高品質、高価格の路線でポジショニングを築いてきた日系メーカーであるが、上記のような市場・競合の動きの中で、その地位が揺らいできているといえる。
ただし、次期購入意向メーカーに、日系メーカーが上位をキープしていることからも分かる通り、日系ブランドの品質への信頼感は根強いと考えられる。
変化のスピードが非常に早い中国市場において、消費者のニーズに素早く対応、または先読みしながら、新たなポジショニングを築いていくことが、日系メーカーに求められていると思われる。

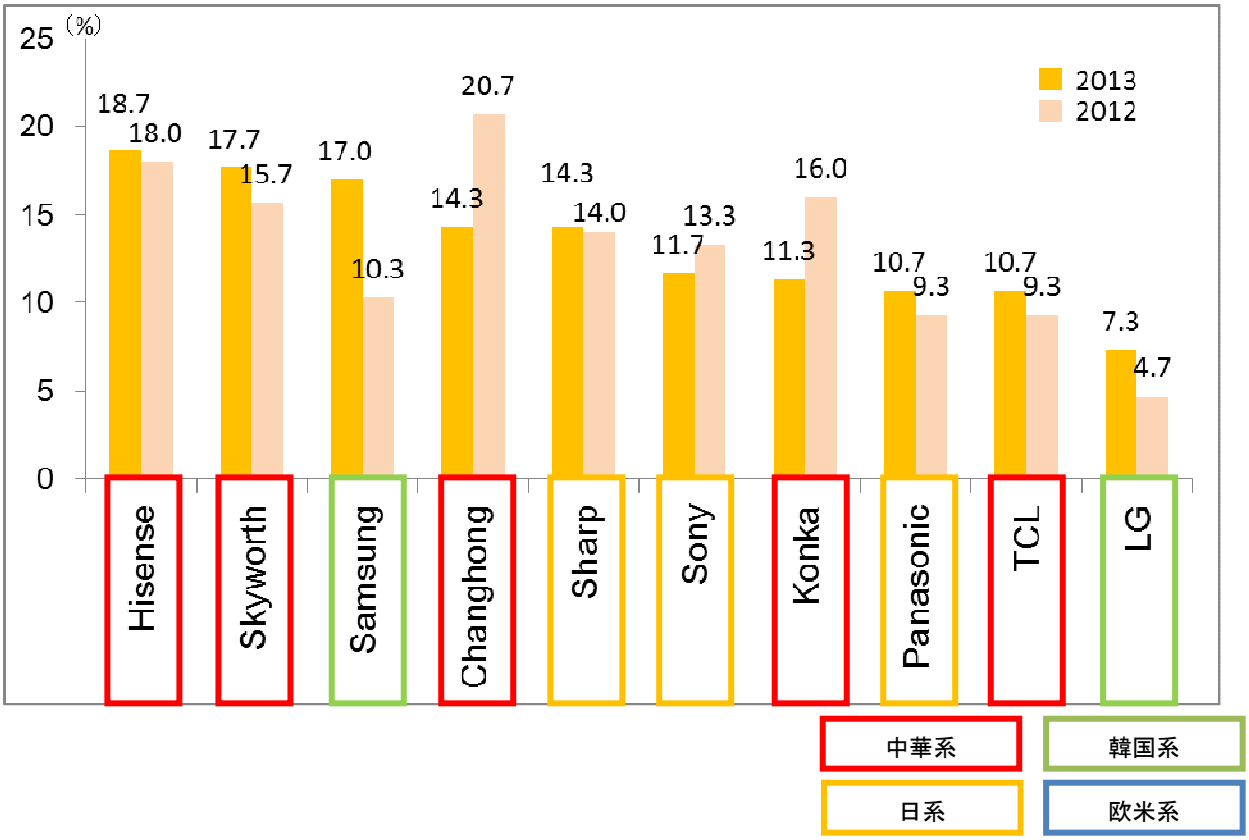
株式会社インテージ
〒101-8201　千代田区神田練塀町 3 番地　インテージ秋葉原ビル
www.intage.co.jp

調査結果

1. 『現在保有しているテレビのメーカー』

Hisense（海信）が 18.7%でトップ。次いで Skyworth（創維）、Samsung（サムスン）が続く。経年の変化をみると、2012 年に上位であった中華系メーカーの Changhong（長虹）および Konka（康佳）が減少しているのが目立つ一方で、韓国系メーカーである Samsung が大きくポイントを伸ばしているが特徴である。

［図 1］ 現在保有しているテレビのメーカー（上位 10 社）

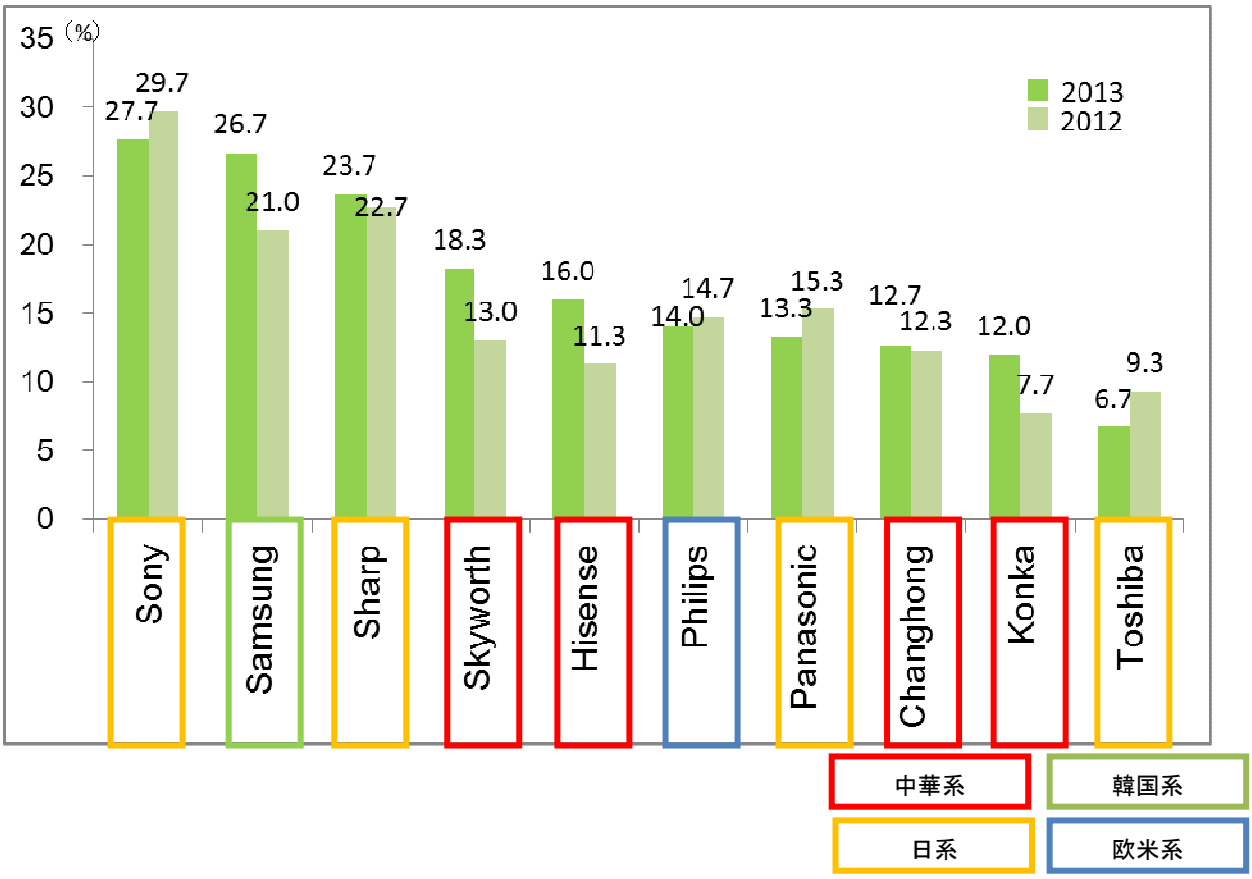


株式会社インテージ
〒101-8201 千代田区神田練塀町 3 番地 インテージ秋葉原ビル
www.intage.co.jp

2. 『次に購入したいテレビのメーカー』

日系メーカーの Sony（ソニー）が 27.7%でトップ。次いで、Samsung（サムスン）、Sharp（シャープ）が続く。なかでもSamsung は 2012 年と比較して 5 ポイント以上伸長しており、現在保有で上位の Hisense（海信）、Skyworth（創維）も 2012 年からポイントを伸ばし、上位 5 位に入っている。

［図 2］ 次に購入したいテレビのメーカー（上位 10 社）



株式会社インテージ
〒101-8201 千代田区神田練塀町 3 番地 インテージ秋葉原ビル
www.intage.co.jp

調査概要

調査方法：インターネット調査

調査地域：中国

調査対象者：20～50 代の一般男女

調査サンプル：男性 150 人/女性 150 人の合計 300 人

調査期間：2012 年 7 月、2013 年 7 月

調査実施機関：株式会社インテージ

【株式会社インテージ】http://www.intage.co.jp/

株式会社インテージ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：石塚　純晃）は、インテージグループ各社とともに、リサーチノウハウ、データ解析力、システム化技術と、これらに基づく情報評価力をコア・コンピタンスとして、経営およびマーケティング上の意思決定に役立つ情報（Intelligence）を提供。生活者とお客様を「情報」でつなぎ、お客様のビジネスの成功に貢献することによって、その先の生活者の暮らしを豊かにすることを目指します。

【この件に関するお問い合わせ先】

■株式会社インテージ　広報担当

担当：小関（おぜき）／佐藤（さとう）

TEL：03-5294-6000　FAX：03-5294-8318

サイト「お問い合わせフォーム」

http://www.intage.co.jp/contact/

株式会社インテージ
〒101-8201　千代田区神田練塀町 3 番地　インテージ秋葉原ビル
www.intage.co.jp